

---

# BUSINESS REPORT 2018

---

平成30年3月期 中間報告書  
平成29年4月1日～平成29年9月30日

### 天然素材のフィールドで、“おいしさと健康”を追求します。

株主の皆さまにおかれましては、日頃より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ第59期中間期（平成29年4月1日～平成29年9月30日）の事業の概況、業績等につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長 山田 潤

### 上半期の業績

当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年9月30日）のわが国経済を取り巻く環境は、政府の経済政策を背景に、雇用・所得環境の改善等による個人消費の持ち直しや企業収益の改善などにより緩やかな景気回復基調が続いているものの、中国をはじめとするアジア新興国等の景気の下振れ懸念や欧米の政治・経済政策に関する不確実性の影響など、先行きは依然として不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、消費者マインドの持ち直しによる外食の緩やかな増加はあるものの、節約志向・低価格志向がいまだに根強く続いており、依然として厳しい収益環境が続いております。

このような中、当社グループでは、新中期経営計画「YSK Priority」の2年目にあたり、これまで取り組んできた事業構造改革による“強み分野へ集中”できる体制を土台として、“水産系天然素材メーカーNo.1”を目指した取り組みを進めております。



## 株主の皆さまへのメッセージ

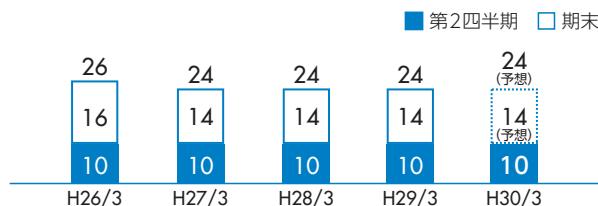
具体的には、i.収益基盤の確立、ii.新規事業領域の拡大、iii.人・組織機能の強化、の3つの重点施策を更に力強く推進していきます。当社グループの強みである水産系の天然素材を原料とした調味料、機能性食品素材を軸として、国内では収益基盤確立のため、食の外部化の進展に対応した中食、外食向けの開発・販売体制のスピード化を進めると共に、海外ではASEAN地域でマーケット情報を収集し、迅速に戦略に反映させるべく、平成30年1月にタイ国バンコク市内に駐在員事務所を開設することを決め、事業領域拡大を推進していきます。製造面においては、静岡県内に分散している工場の生産体制の見直しや、主力の掛川工場をより一層“食の安全・安心”を提供できる主要拠点へと進化させるべく、FSSC22000の認証取得に向けた取り組みを進めております。また、人・組織機能の強化においては、生産性の向上を目指し、ワークライフバランスの推進と教育・研修体制の充実を積極的に図ってまいります。

当期の中間配当については、前期の中間配当と同じく1株あたり10円とさせていただきます。期末配当については、1株あたり14円（中間と合わせて24円）を予定しております。当社グループを取り巻く環境は、依然として厳しいものがありますが、引き続きグループの力を集結して持続的な成長を実現し、株主価値の向上に取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 配当金推移

(単位：円)



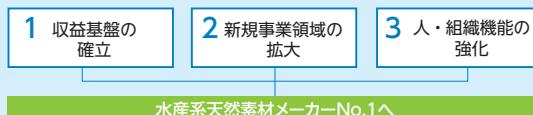
### 中期経営計画

## YSK Priority (YSKプライオリティ)

当社グループの平成29年3月期～平成31年3月期の中期経営計画スローガンは「YSK Priority」です。“強み分野への集中”を徹底し、水産系天然素材メーカーNo.1を目指します。

### 「YSK Priority」の基本方針

3つの柱に経営資源（人・物・金）を集中投入し、成長戦略を描く



### 重点施策

- 1.事業構造改革の実施により、水産系天然素材を原料とした製品に集中。営業力の強化を図り、強固な収益基盤の確立を目指す。
- 2.経営資源をASEAN地域へ集中投下、拠点開設に向けたステップに移行。B to C事業の効率的な広告宣伝の実施。
- 3.グループ全体が有機的に行動できる環境整備のため、人事育成プログラムを構築。

### 「YSK Priority」の定量目標

最終連結業績の目標値を以下の数値に設定いたしました。

(単位：百万円)

	平成29年3月期 (実績)	平成31年3月期 (計画)	差異
連結売上高	15,248	17,000	+1,752
連結営業利益	880	1,200	+320

天然調味料の製造 香辛料の製造  
調味料の受託加工

売上高構成比  
49.2%

## 調味料

売上高 **37億 15百万円** 前年同期比 **5.0%減** ▼

セグメント利益 **3億 94百万円** 前年同期比 **4.8%減** ▼

液体調味料・香辛料の売上は伸長したものの、低採算品の統廃合やCVD技術を駆使した調味料の前期反動減により、減収減益となりました。

### 天然調味料

カツオエキス 昆布エキス ホタテエキス  
カニエキス オイスターエキス etc.

機能性食品素材の製造 健康食品の通信販売  
機能食品の受託加工

売上高構成比  
20.1%

## 機能食品

売上高 **15億 18百万円** 前年同期比 **3.7%減** ▼

セグメント利益 **2億 92百万円** 前年同期比 **0.9%減** ▼

アンセリンは堅調な販売が継続しているものの、N-アセチルグルコサミン・コラーゲンの価格競争激化に伴う受注減が影響し、減収減益となりました。

### 機能性素材

N-アセチルグルコサミン アンセリン マリンコラーゲン  
フコイダン コンドロイチン硫酸 テアフラビン etc.

水産物の問屋業 倉庫業  
水産物の加工

売上高構成比  
22.4%

## 水産物

売上高 **16億 95百万円** 前年同期比 **5.3%増** ▲

セグメント利益 **18百万円** 前年同期比 **419.3%増** ▲

韓国向け海外販売が減少したものの、OEM加工製品の販売が伸長、原料販売も堅調に推移したことにより、増収増益となりました。

その他商品  
化粧品通販事業

売上高構成比  
8.3%

## その他

売上高 **6億 24百万円** 前年同期比 **8.1%減** ▼

セグメント利益 **45百万円** 前年同期比 **83.7%増** ▲

化粧品通販事業を子会社のUMIウェルネス(株)に集約した際の販売品目の整理により減収となったものの、広告宣伝費の減少により増益となりました。

※上記における各分野のセグメント利益は配賦不能費用（346百万円）控除前のものです。

## Fi Asia 2017に出展、販路をASEANに拡大

平成29年9月13日～15日の3日間、バンコクにて開催された東南アジア最大の素材展示会「Fi Asia 2017」に出展しました。今回はタイでFDA認可が下りた当社の主力



製品「マリンアクティブ10（アンセリン）」と、海外向けに新しく開発した調味料8品をPR。タイをはじめベトナム、シンガポール、中国など多くの国からの来訪者があり、盛況となりました。当社では、ASEANでの販売をより強化すべく戦略を立てています。今回の出展はその第1歩目の足掛かりとなりました。

## より手軽に!業務用 小型ボトル調味料販売開始

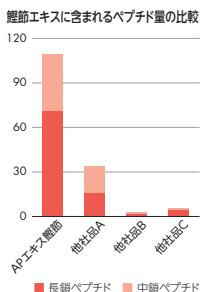
平成29年11月より小型ボトル調味料として、ペースト調味料「旨みたっぷり」、だし調味料「風味の雫」の2シリーズの展開を開始しました。外食・中食マーケットは近年拡大しているものの、人手不足の問題も抱えており、当社でもこの分野を強化すべく、今年度から営業本部内に業務特販部を設置しています。今回、販売を開始する2シリーズはいずれも調理の際の扱いやすさを重視し、ボトル型を採用しています。人手のかかるだし取りの手間を省き、手軽に旨みや香りを付加できる本調味料シリーズ、外食・中食マーケットの拡大と共に需要増進が期待されます。



（このブロックのテキストは上記の段落と重複するため、ここでは省略します）

## だし感とコクを同時にプラス! 新製品「APエキス鯉節」販売開始

平成29年11月より“だし感”と“コク”をひとつで叶える新エキス調味料「APエキス鯉節」の販売を開始しました。分子量500～5,000の中・長鎖ペプチドは、旨みの増強やコクの付与に関与することが知られています※。特殊抽出法により、鯉節由来の中・長鎖ペプチドを効率よく抽出できるため、“だし感”だけでなく、“厚み”や“コク”を付与することができます。これひとつで様々な食品や料理の味を組み立てられて使い勝手がよいので、様々な場所で活躍できる調味料となることが期待されます。



※山田ら New Food Ind.(2003),西村 日本調理学会誌(2003)

## 子会社UMIウェルネス(株)から サプリメント「ロコモリン」新発売

平成29年11月1日、当社子会社のUMIウェルネス(株)よりサプリメント「ロコモリン」の販売を開始しました。「海の成分で毎日の歩みをサポート」がコンセプトの本商品。海を表す「マリン」とハツラツとした歩みをイメージした「ロコモーション」で「ロコモリン」としました。毎日の歩みをサポートするために軟骨成分のN-アセチルグルコサミン、筋肉成分のアンセリン、骨成分のカルシウムを配合し、ギュッと1粒に凝縮、チュアブルタイプに仕上げました。

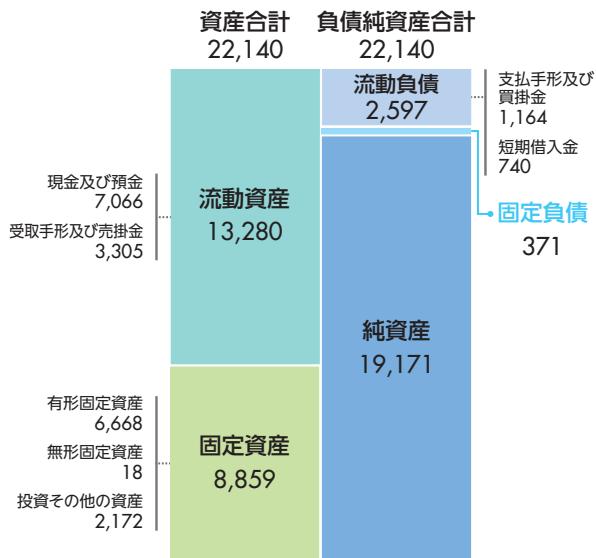


# 連結財務諸表

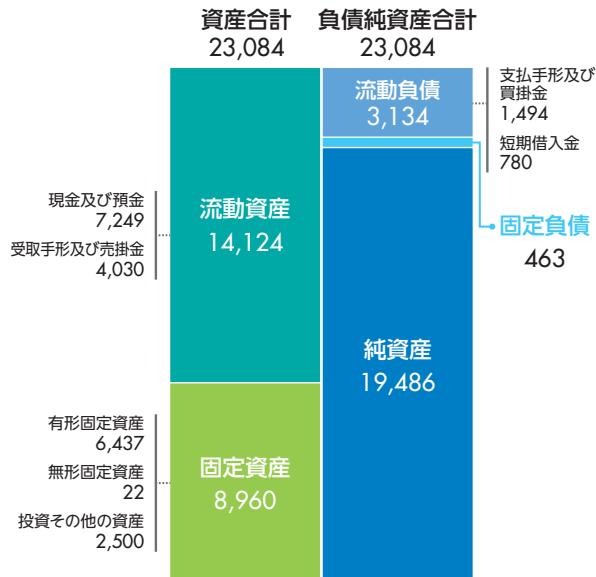
## 連結貸借対照表の概要

(単位：百万円未満切り捨て)

前期 (平成29年3月末)

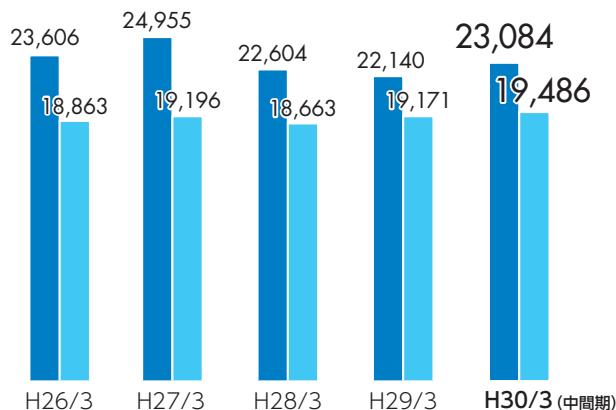


当中間期 (平成29年9月末)



● 総資産 ● 純資産

(単位：百万円)



- 当中間期末における総資産の総額は、前期末に比べ9億44百万円増加し、230億84百万円となりました。
- 流動資産は、141億24百万円（現金及び預金が1億82百万円、受取手形及び売掛金が7億25百万円、原材料及び貯蔵品が46百万円増加した一方、商品及び製品の23百万円減少等により8億43百万円増加）。
- 固定資産は、89億60百万円（保有株式の株価上昇により投資有価証券が2億86百万円増加した一方、期中の減価償却が設備投資を上回り有形固定資産の2億30百万円減少等により、1億円増加）。
- 流動負債は、31億34百万円（支払手形及び買掛金が3億29百万円、短期借入金が40百万円、未払法人税等が49百万円、賞与引当金の46百万円増加等により5億37百万円増加）。
- 固定負債は、4億63百万円（繰延税金負債の86百万円増加等により91百万円増加）。
- 純資産は、194億86百万円（利益剰余金が1億17百万円、その他有価証券評価差額金の1億98百万円増加等により3億14百万円増加）。この結果、自己資本比率は84.4%となりました。

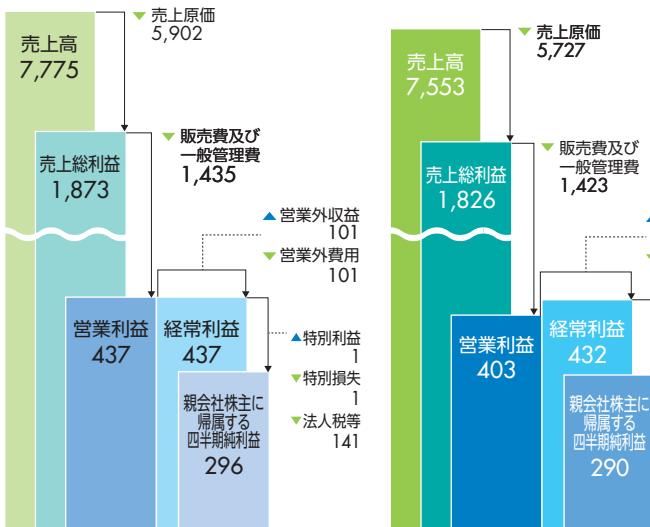
当冊子よりさらに詳しい財務情報などは当社IRサイト

## 連結損益計算書の概要

(単位：百万円未満切り捨て)

前中間期 (平成28年4月1日～平成28年9月30日)

当中間期 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)

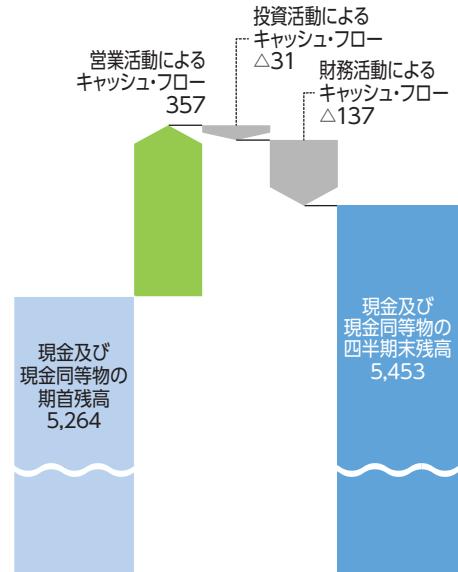


- 当中間期における連結売上高は、積極的な新規顧客の開拓を進めたものの前期から引き続き低採算品の統廃合を進めている影響もあり、75億53百万円（前年同期比2億21百万円、2.9%減）の減収となりました。
- 利益面は、製造経費や販売費及び一般管理費の削減に取組みましたが、連結営業利益は4億3百万円（同34百万円、7.9%減）となりました。連結経常利益は、営業外費用において為替差損が減少したこと等により4億32百万円（同5百万円、1.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億90百万円（同5百万円、1.8%減）となりました。

## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円未満切り捨て)

当中間期 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)



- 当中間期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は54億53百万円となり、前期末比1億88百万円増加しました。
- 営業活動 増加した資金は3億57百万円（前年同期比2億3百万円減）、内訳としては、売上債権の増加7億25百万円、法人税等の支払額86百万円などの減少要因に対し、税金等調整前四半期純利益4億36百万円、仕入債務の増加3億29百万円、減価償却費2億76百万円などの増加要因があります。
- 投資活動 減少した資金は31百万円（前年同期比78百万円減）、内訳としては、有形固定資産の取得による支出39百万円などの減少要因があります。
- 財務活動 減少した資金は1億37百万円（前年同期比5億95百万円増）、内訳としては、配当金の支払額1億73百万円などの減少要因があります。



## ■ 会社概要 (平成29年9月30日現在)

**商号** 焼津水産化学工業株式会社  
**事業内容** 天然調味料および機能食品の製造販売  
**資本金** 36億1,764万円  
**創業年月日** 昭和34年5月15日  
**取引銀行** 静岡銀行/三井住友信託銀行  
**事業所**  
 静岡本部 〒422-8067 静岡県静岡市駿河区南町11番1号  
 静銀・中京銀静岡駅南ビル6F  
 TEL.054-202-6030 FAX.054-202-6031  
 焼津本社  
**営業所** 東京営業所、大阪営業所、名古屋営業所、九州営業所  
**工場** 静岡県内3工場(焼津・団地工場 大東工場 掛川工場)  
**連結子会社**  
 ●マルミフーズ株式会社  
 資本金 100百万円 当社の議決権比率 100%  
 主な事業内容 水産物の加工・販売  
 ●UMIウェルネス株式会社  
 資本金 50百万円 当社の議決権比率 100%  
 主な事業内容 健康食品・化粧品通信販売

## ■ 株主メモ

**事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
**定時株主総会** 毎年6月下旬  
**株主確定基準日** (1) 定時株主総会議決権行使株主 3月31日  
 (2) 期末配当金受領株主 3月31日  
 (3) 中間配当金受領株主 9月30日  
 (4) その他必要あるとき あらかじめ公告して定めた日  
**単元株式数** 100株  
**上場金融商品取引所** 東京証券取引所 市場第1部  
**株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社  
**同事務取扱所** (〒168-0063)  
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話番号 (0120) 782-031 [フリーダイヤル]  
**同取次所** 三井住友信託銀行株式会社 全国各支店  
**公告の方法** 電子公告 <http://www.yskf.jp/ir/koukoku.html>  
 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。  
**株式に関する各種手続きのお申し出先**  
 (1) 証券会社経由で株式会社証券保管振替機構(ほふり)に株式がある場合  
 ▶株主様が口座を開いている証券会社  
 (2) 特別口座に株式がある場合  
 ▶三井住友信託銀行株式会社  
 お問い合わせは下記の証券代行部フリーダイヤル  
 またはホームページをご利用ください。  
 フリーダイヤル (0120) 782-031 (9:00-17:00)  
 ホームページ <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

※ 配当金領収証で配当金をお受け取りの株主様は、別紙「配当金口座振込サービスのご案内」をご覧ください。

## ■ ウェブサイトのご案内

<http://www.yskf.jp/>



当社のことをより深く理解していただくとともに、最新情報をタイムリーに提供することを目的に、IR情報や製品検索、研究開発情報、事業内容などをウェブサイトに掲載しています。ぜひご活用ください。

◀ トップページ

UMIウェルネス  
 オンラインショップ  
<http://umiwellness.com/>



オンラインショップで当社素材を配合した商品がお買い求めいただけます。

## ■ IRカレンダー

第1四半期			第2四半期		
4月	5月	6月	7月	8月	9月
	5月下旬 ■ 株主優待発送	6月中旬 ■ 定時株主総会招集ご通知発送	6月下旬 ■ 定時株主総会	8月上旬 ■ 第1四半期決算発表	9月末日 ■ 中間配当金受領株主確定日
第3四半期			第4四半期		
10月	11月	12月	1月	2月	3月
	11月上旬 ■ 第2四半期決算発表			2月上旬 ■ 第3四半期決算発表	3月末日 ■ 決算日、期末配当受領株主確定日

UD  
FONT

VEGETABLE  
OIL INK